

製品荷姿
1



本製品は「精密機器」です。
絶対に「落下」させないこと。
万一落下させた場合は
必ず現場責任者へ連絡のこと。

フラッシュドットは最大「3台1組」 フラッシュラインは最大「2台1組」で配送されます。
(写真はフラッシュドット3台1組が3組で合計9台の例)

配線保護用
塩ビ管
2



外部ケーブル保護用として直径100[mm]以上の
「半割の塩ビ管」を使用のこと
(「コルゲート管」等の使用も可)



「水抜き用の孔」を開けること

開梱
前段取り
1



製品は開梱後「立てて置く」こと
ケーブルは「製品の上に置く」こと



『別送』の「外部接続ケーブル」
(詳細は事前打合せで説明)

ケーブル
テープ処理
3



コネクタは「防水」ですが念の為
「自己融着テープ」を巻くこと



自己融着テープの外側を
「Uシテープ」で巻くこと



自己融着テープの一例

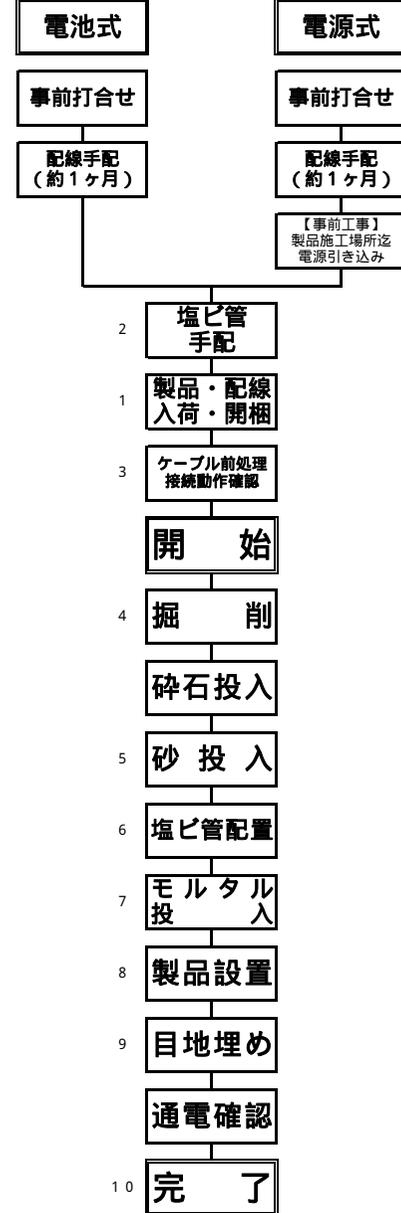
動作確認
3

必ず「施工前」に全ての外部ケーブルを取り付け動作確認下さい。
＜注意＞
昼間はセンサーが動作しているので覆いで暗くしてください。

掘削
4



フラッシュドット・フラッシュライン 施工手順



塩ビ管
押さえ砂
投入
5



塩ビ管
配置
6

塩ビ管
押さえ
モルタル
投入
7



絶対に、塩ビ管の中へモルタルを入れないこと。

塩ビ管へ
ケーブル
配置



塩ビ管へ
保護砂
投入

製品配置
8
目地埋め
準備
目地埋め
9



通電確認

「センサーを有効」にしている場合、
通電確認は「製品表面に覆いをかけて暗くして」実施下さい。

完成
10



梱包材等の後始末を忘れずに！

株式会社厚生舎

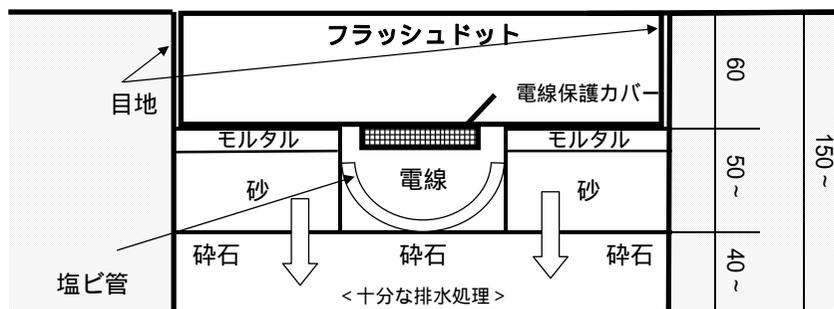
注意事項・確認事項

- 【ACタイプ】
1. 事前に「電源引き込み工事」を行ってください。
 2. 使用できる電源は、AC100V・AC200Vです。
 3. 電源ラインには、必ず「ブレーカー」を設置ください。
- 【ACタイプ】
【DCタイプ】
共通
1. 工事用配線イメージは、右図参照下さい。
 2. 電線保護用に「塩ビ管」や「コルゲート管」等を使用下さい。
 3. 管の太さは、内径100～150[mm]のものをお使い下さい。
 4. 施工寸法図例

構造及び寸法は一例です。詳細は発注者と協議下さい。

「モルタル」は「速乾性セメント」でも代替可能です。

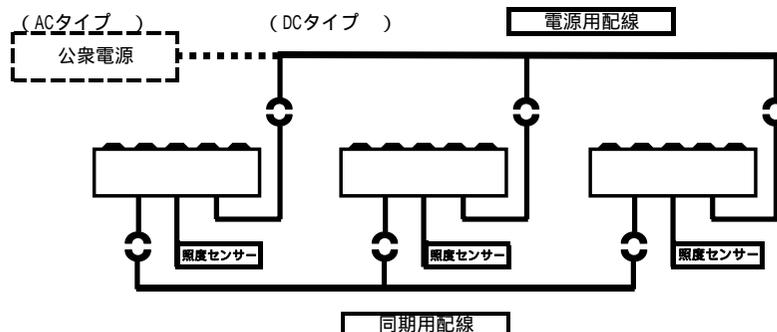
(1) フラッシュドット



【重要】絶対コルゲート管内部にモルタルが入らないこと！

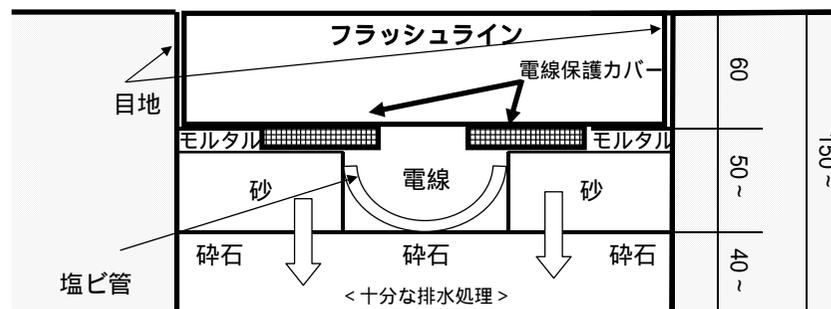
【重要】コネクタ部は「自己融着テープ」と「ビニールテープ」で保護してください

【重要】施工用電線には「防水コネクタ」及び「防水保護チューブ」を使用しておりますが、「雨水」等の『排水処理』を十分に実施下さい。



**本製品は「精密機器」です。
絶対に「落下」させないで下さい。**

(2) フラッシュライン



【重要】外部ケーブルをコルゲート管へ入れる入口部分には電線保護の為、必ず「テープ巻き」のこと。

【重要】内側・・・「自己融着テープ」
外側・・・「ビニールテープ」

【重要】「ACラインの電線接合部」や、やむを得ず途中を切断した場合など「コネクタを使用せずに接続する箇所」は、スリーブ使用の圧着だけでなく「半田付け」を推奨いたします。特に「制御（コントロール）用電線」は「微弱電流」ですので、スリーブ圧着後「半田付け」実施ください。